



小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
植物の体とはたらき / 理解シート

## すいじょうき 葉から水蒸気が出ているのを、調べる方法を教えて



出てくる水蒸気をにがさないように、ポリぶくろなどをかぶせておくと、確かめられるさ。

葉から水蒸気が出ているかどうかを調べるには、同じような大きさの枝を2つ選び、片方の枝の葉を全部とってしまいます。

同じ大きさのポリぶくろを2枚用意し、葉のついた枝と、葉をとってしまった枝の両方に、すっぽりかぶせ、口のところをひもでしばるか、モールなどのやわらかい針金はりかねでしばります。そのまま、30分ごとに観察してみましょう。

気温が高く、よく晴れた日なら、葉がついた枝のポリぶくろが、すぐ水蒸気が水てきになったもので、白くくもってきます。天気がよい日は、植物のはたらきも活発になり、たくさんの水が吸い上げられ、出てくる水蒸気の量も多くなるからです。

葉をとった枝のほうは、ポリぶくろがくもってこないため、あまり水蒸気が出てこないこともわかります。

### 葉のついた枝は、花びんの水のへりかたが、速い

花を入れた花びんの水をとりかえるとき、朝、口まで入れた水が、夕方にはずいぶんへってしまっていることが多いものです。とくに、葉がたくさんついた枝が多いと、よく水がへります。これは、葉の表面に、くきで吸い上げた水を、水蒸気にして追い出す、あな（気こうという）があるからです。

